



地域おこし協力隊 活動報告

1年目・本田真美

これからの畑づくりに向けて、地域の方と一緒に「もみがら燻炭」を作りました。「もみがら燻炭」とはその名の通り、もみがらを燻して炭にしたもので農業大学の先生も太鼓判を押す、非常に良い土壌改良資材です。作り方は様々ですが、今回は一番シンプルな「田んぼに燻炭器を置いてもみがらを被せる」方法で作成してみました。作り方は、①枯れ木などを集めて火をつける、②燻炭器を被せる、③燻炭器の周りにもみがらをたっぷり被せる、④表面にポツポツ黒い部分が見えてきたら切り返し、まんべんなく火が通るようにする、⑤全体的に黒くなったら煙突を倒し、水をたっぷりかけて冷やし、乾いたら完成となります。④まではある程度うまくいったものの、⑤に至るまで私が立ち会えず、後日結果を見に行ったら火が通りすぎたようで、残念ながら大半が灰になっていました。悔しいので、近日にまたリベンジしたいと思います。



▲地域の方と、もみがらをかける本田



▲大半が灰となった様子



▲もみがらの切り返しを行う本田

2年目・吉川勝



▲昨年11月に実施した教室の様子

現在、子供たちが自転車やランニングバイクで楽しく遊べるように、教室などの実施に向けて準備をしています。春から月1回程度の開催を予定しています。お楽しみにお待ちください。

2年目・星野由季菜



▲講師の桑井優子氏に御礼をする生徒

令和5年2月15日(水)に、明峰中学校2年生の親子を対象に「なりたい自分になるための自立講座」を実施しました。保護者からは「子供のためにと先回りしたことが子供のためにならないと気付いた」などの意見がありました。

2年目・谷部文香



▲取材先「米粉スイーツKu-」のお菓子

令和5年3月1日(水)に、市内に新しいお菓子工房がオープンしました。オープンに合わせて取材を実施しました。インタビュー記事は、協力隊HPに掲載されています。下記二次元コードを読み取って、ぜひご覧ください。



SNSも見てね～



協力隊 活動報告～Vol.65～【お問い合わせ】電話⇨0295-52-1111 (地域創生課地域おこし協力隊)
デザイン・編集 谷部文香 メール⇨sousei@city.hitachiomiya.lg.jp